

水温は北部で「極めて低め～やや低め」、南部で「やや低め～平年並」で推移

(令和4年3月の海況と今後の予測)

1 海洋観測結果 (3/1～2: 調査船「いばらき丸」)

- ・水温の平面図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。
- ・荒天の影響により、大洗定線の142° E、鹿島定線の141° 45' E～142° E、犬吠埼定線の141° 30' E～142° Eの地点で欠測となりました。
- ・水温は0m深で12～15℃台、50m深で4～16℃台、100m深で7～15℃台、200m深で3～11℃台でした (図2)。
- ・前月と比較すると、50～100m深の大洗～鹿島定線にかけて昇温傾向、会瀬定線では降温傾向となりました (図3)。
- ・平年と比較すると、0m深で「平年並」～「やや高め」、50～100m深で「やや低め」～「高め」、200m深で「低め」～「やや高め」となりました。
- ・潮流は大洗定線の141° E以西と犬吠埼定線で真潮傾向、会瀬～大洗定線の141° E～141° 45' Eの範囲で逆潮傾向となりました。

2 本県周辺海面水温の現況

- ・本県海域の水温は2～16℃となっています (図1)。
- ・黒潮は犬吠埼の東75マイルを東北東に流れています。黒潮の北限は145° E付近で38° Nまで達しており、北偏しています (3月7日発行の海洋速報より)。
- ・親潮第一分枝の南限は36° 40' N、142° E付近に位置し、平年より南偏しています。

3 今後1か月の見通し

- ・黒潮の犬吠埼離岸距離は平年並～やや離岸で推移する見込みです。
- ・黒潮からの暖水波及が断続的に発生する可能性があります。
- ・親潮第一分枝の勢力が強く、今後も南下の傾向は続くでしょう。
- ・1か月後の水温は、親潮第一分枝の影響を強く受ける北部では「極めて低め～やや低め」、南部では「やや低め～平年並」で推移するでしょう。

(参考) 4月の表層水温 (東経142度まで) の30年平均 (1991-2020)

会瀬: 11～13℃台 大洗: 10～13℃台 鹿島: 11～16℃台 犬吠埼: 13～17℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 大森 健策)

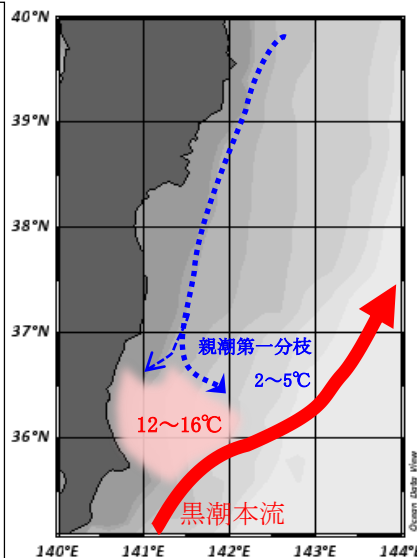


図1. 海面水温の現況 (3月8日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0～6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

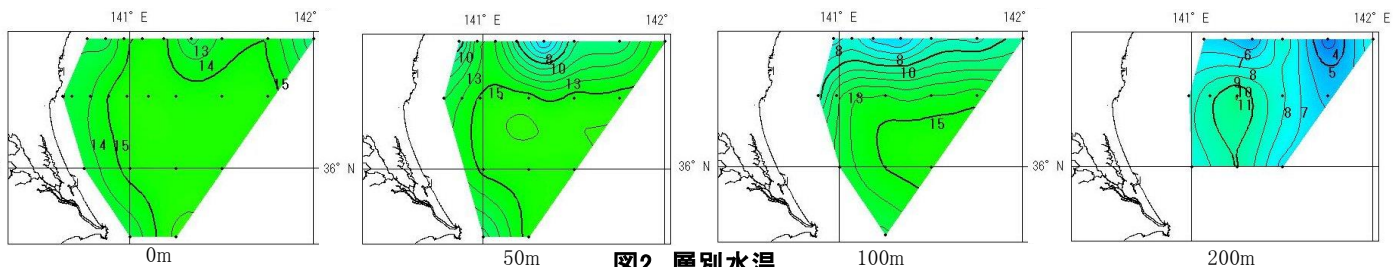


図2. 層別水温

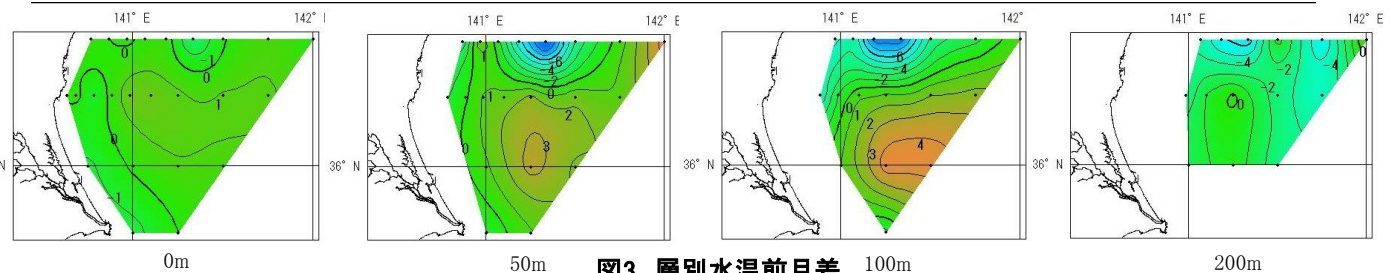


図3. 層別水温前月差

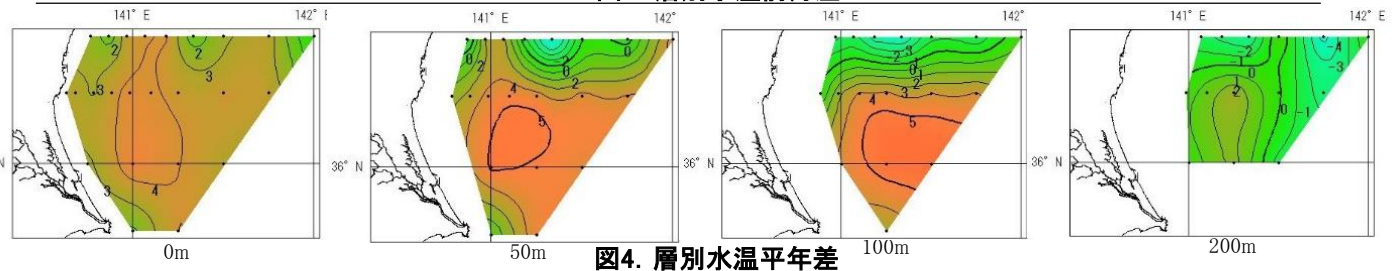


図4. 層別水温平年差

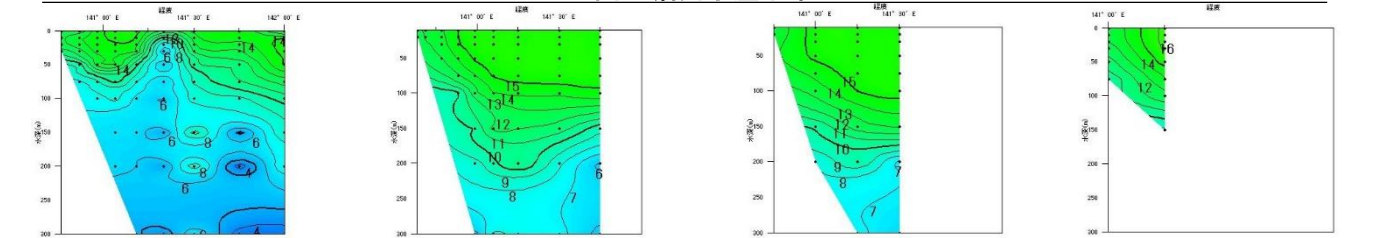


図5. 鉛直水温